

2月定例月議会における議案に対する意見募集

7 鳥獣被害防止対策事業（当初予算）について

サル、イノシシ、シカ等の野生鳥獣の出没域が拡大し、農作物等への被害が深刻な状況となっていることから、捕獲オリやサル大量捕獲囲いワナによる捕獲活動の実施、電気柵等の進入防御柵の設置補助、農業者、住民、猟友会が連携した追い払いの支援を行います。

今回の事業におけるご意見を募集いたします。

1. 目的

サル、イノシシ、シカ等の野生鳥獣の出没域がより拡大し、農作物等への被害が深刻な状況となっていることから、捕獲活動の実施、電気柵等の進入防御柵の設置補助、農業者、住民、猟友会が連携した追い払いの支援を行うことにより、被害防止対策を推進する。

2. 内容

(1) サル、イノシシ、シカ等の有害鳥獣の銃器、捕獲オリやサル大量捕獲囲いワナによる捕獲を推進する。

有害鳥獣捕獲事業業務委託 6,760千円

(2) 有害鳥獣による農作物等の被害を軽減するため、地域が一体となって被害を軽減するための取り組みを推進する。

防除施設等整備補助金 5,000千円

追い払い物品支給等 4,880千円

(3) サルに取り付けられた発信機からの電波を受信し、サルの群れの位置を調査するとともに周辺住民等へ情報を伝え、追い払いや捕獲活動に活用し、被害防止に努める。

野生ザル行動調査・監視業務委託 2,500千円

(4) サル大量捕獲囲いワナやシカ・イノシシの捕獲オリの導入など、四日市市鳥獣被害防止総合対策事業推進協議会が行う鳥獣被害防止総合対策事業に対して負担金を支出し、捕獲を推進する。

鳥獣被害防止総合対策事業推進協議会 2,295千円



サル大量捕獲囲いワナ（桜町）
寸法：10m × 20m × 2.7m

3. 予算額 21,435千円 （財源内訳）一般財源 21,435千円
（前年度 13,952千円）

農作物被害金額の推移(品目別)

単位:(千円)

	稲	果樹	野菜	その他	計
平成20年度	1,248	98	2,660	859	4,865
平成21年度	815	116	6,411	1,663	9,005
平成22年度	804	107	4,988	1,111	7,010
平成23年度	1,227	230	6,605	1,783	9,845
平成24年度	1,200	200	6,740	1,810	9,950
平成25年度	1,040	400	6,900	1,860	10,200

有害捕獲頭数の推移

単位:(頭)

	サル	イノシシ	シカ	計
平成20年度	19	6	20	45
平成21年度	26	14	15	55
平成22年度	13	3	6	22
平成23年度	11	5	-	16
平成24年度	10	13	11	34
平成25年度	36	56	20	112

サル群の現状

四日市 A 群	個体数	130 ~ 140 頭 発信機: 3 機
	遊動域	約 46km ² (水沢、桜、小山田、川島、四郷、内部)
四日市 B 群	個体数	140 ~ 150 頭 発信機: 2 機
	遊動域	約 9km ² (水沢、桜)

